

自然科学である元極学について

日本元極学学会 会長 ジョー キョウキ
徐 暁輝

一、元極学の歴史

元極学は「太一道」を源とする中国の伝統文化の一つである。

「太一道」は金の時代（約800年前）に始まり、元の時代（約700年前）にその最盛期を迎え、河南省と河北省のあたりで広まった。とりわけ元の時代に宮廷における健康術、医術として皇族に持て囃され、五代目頃をピークに栄えたが七代目あたりから次第に衰えた。

「太一道」は病気の治療と健康の維持に効果が認められただけでなく、天文と地理についても独特な理論を持っていた。古代文献に「金と元の時代に黄河の洪水と蝗災害の予報に関して「太一道」から大きな貢献があった」と記されていた。明、清の時代には「太一道」は北方から黄河と長江を渡って南方に移り、湖北省で秘伝として民間に下ったため、長い間世に知られることはなかった。

元極の開祖普善禪師は「太一道」のエッセンスである「太極図」と「太一三元法録」を継承し、一生を仏教、道教、儒教の研究に捧げ、仏教の「明心見性」を理論の根拠とし、道教の「修身練性」を修練の基礎とし、儒教の「養徳尽性」を極化の原則とし、更に禪宗の「定慧双運」と蓮宗の「梵音念仏」の修練特徴を吸収した上で「元極図」と「元極秘録」を確立し、「元極道」を極めるに至った。

当代元極の掌門人（家元）である張志祥氏は「元極道」の故郷である湖北省鄂州葛店張師村に生まれた。先祖は「元極道」の師祖王氏に師事し、三代に渡って門外不出、一子相伝で「元極図」と「元極秘録」を継承し保持してきた。

張氏は二十歳の時、その四代目の掌門人（秘伝継承人）となった。その時、張氏は元極の先祖に向かって「吾以吾心対天地、吾以吾身献元極」（我が心をもって天地に向かい、我が身をもって元極に捧げる）と誓った。中国の波乱に満ちた歴史の中で、張氏は数十年間修練を重ね、大変苦勞の末、伝統的な元極理論と功法を整理した。更に現代科学の数学、物理学、天文学、化学、生物学、医学、哲学、人体科学等を直結し、理論と実技を生み出した。「元極学」は新たな人天科学分野における独創的な学問として確立された。

張氏は中華民族の優れた文化「元極学」及びその実践法「元極功法」を人類の幸福の為に捧げる事を決意し、1987年それまで門外不出であった秘伝の公開に踏

み切った。その後、わずか数年間で中国31省に普及し世界中の18ヶ国にも研究組織ができた。すでに四百万人余りの病人が救われ、奇跡的な事象が次々と起こっている。元極康復医院の統計により、聾啞治療を受け、15デシベル以上改善された患者は34%になり、各種胆石の排出率は87%であり、シリコン肺病の治療に長期効果を持つのは43%になり、近視の治療と予防効果は80%以上にも至った。各種の良性瘤には有効率が80%、治癒率が56%、癌には有効率が52%、治癒率が36%となった。元極医学の実績は国内外の医学分野に注目され、現在医学研究者の魅力的な研究テーマになっている。

今、湖北省鄂州蓮花山は理論の研究、人天科学の実験及び実技の伝授、疫病の治療などの総合的な基地として、元極堂、元極康復医院、接龍台、元明塔、元極講堂、元極食堂、ホテルなど約三十三万平方メートルの敷地に建物が次々と完成した。これから人天大学、国際ホテル、空港などの第二期工事に入るため、中国全土は言うに及ばず、世界中から毎月何千人もの人々が日々訪れる事になるだろう。そのため宿泊施設の対応も進められている。

張氏に対する信頼と尊敬は人民のみならず中国政府にも及び、1993年2月に中央政治協商委員会委員に選出された。同時に「中国元極学研究会」は、政府承認の民間学術団体として北京の人民大会堂において成立大会を開催するに至った。

1991年、張志祥氏の著作「中国元極功法・巻一」が中国科学出版社より出版され、今年「中国元極功法・巻二」も続いて出版された。中央新聞テレビ局が撮影したビデオテープ「元極の光」も世界中の157ヶ国に発行されている。

1993年11月イギリス「世界知識名人録」第11刊に張志祥氏の名前が掲載された。人類の文化に特別な貢献を表彰されたのである。同年の12月にその榮譽書の複写をイギリスの「世界知識名人傳記センター」に永久展示する事が決められた。

二、元極学の内容概論

元極学が世間に普及して以来、民間から政府までどこへ行っても信頼と感謝の熱意に包まれている。このように発展した理由は元極学に一貫した理論と科学的修練法が備わっていることである。

元極学の主な内容は次の七部分に分けられる。

- 1)理論の核心……元極図の理論
- 2)元極学の二本の柱……人天整体観と性命学説
- 3)十字真言論
- 4)元極学の準則……和
- 5)量論
- 6)無為システム
- 7)元極学の実践法……元極功法（十部功法が含まれている）

三 元極図の理論

元極図の理論は元極学の核心と認められている。それを十分に理解すれば、元極の真髓を把握することができる。また、元極功法を修練する道も広がる。

基本概念

一) 「元、極」の意味

- 1、元：「元」は天地、万物の本源、万物を組み立てる極細かく、極微妙的な原始物質である。「元」は元氣、元光、元音という三元の形で存在している。

現代科学と比較すれば：

元氣……物質（例えば水素、酸素、二酸化炭素あるいは人体にある真氣、営氣、衛氣、宗氣など）

元光……エネルギー（例えば赤外線、紫外線、レーザーなど）

元音……情報（例えば音波など）

元音の貫通、元光の照らしと元氣の流れによって宇宙の万物が運動している。現代科学の物質は有形的な物だけ表現しているが三元は有形的な物だけでなく無形的な物も表現できる。よって、三元の意味は現代科学の物質、エネルギーと情報の意味を超えているのである。

1) 三元の基本状態：

先天三元……無形無象、見えない、形の無い、現代科学の研究がまだ到達していない。しかし客観的に存在する分野である。

後天三元……有形有象、直感でき、現代科学はそれを重点的に研究している。

- 2) 三元の特徴：世界のあらゆる物質はすべてこの三元に含まれており、またあらゆる物質の最小単位は三元を要素として成り立っている。即ち、三元という物は決まった色も形も大きさもない。マクロ的にみれば三元の外には何もなく、ミクロ的にみれば三元の内にも何も無い。三元は時間と空間に制限されずエネルギーと情報をのせて、有限と無限の世界に出入りしている永久的物質である。

2、極：本質を示す、真実状態あるいは統一、安定状態の意味である。

三元が絶えず活発に運動している。その運動が次第にバランスを取り、一時的な統一に至る。その統一状態を「極」という。ゆえに「極」は三元が運動する特別状態ともいえる。

三元の運動する次元に対応して三極がある。

元音……無極 元音の本質を示す、事物の運動する最高段階である。

元氣……太極 元氣の本質を示す、陰陽の運動する最終段階である。

元光……皇極 元光を主宰にする、古い過程の円満終了と新しいシステムの誕生を示す。

* 要するに、元は天地万物の原始物質であり、極は三元の運動する帰着点である。

3、元極功法：人間が修練しながら天地の原始物質とその運動リズムを悟る修練法である。

4、元極学：天地万物の原始物質とその運動リズムを研究対象とする自然科学である。

* 元及び極は元極学の基礎と言える。科学的な態度で元及び極を認識することが元極学並びに元極功法を勉強するキーポイントである。

- 任脈：三田一宮 下丹田……臍下の四本指の所。
 中丹田……臍の所。
 上丹田……眉間の真ん中よりやや上の所、玄関とも言う。
 膻宮……両方の乳をつなぐ線の真ん中。
- 督脈：三関一門 尾閭関……尾骨にあり、下丹田に対応する。
 挟脊関……脊椎にあり、膻宮と向かい合う。
 玉枕関……後頭部にあり、上丹田と向かい合う。
 命門……第二腰椎にあり、中丹田と向かい合う。
- 中脈：三庭一殿 下黄庭……下丹田と尾閭関をつなぐ線の真ん中。
 中黄庭……中丹田と命門をつなぐ線の真ん中。
 上黄庭……上丹田と玉枕関をつなぐ線の真ん中。
 黄金殿……膻宮と挟脊関をつなぐ線の真ん中。
- 頭上：三宮一元 皇極宮……頭上の真ん中にあり、百会とも言う。
 太極宮……皇極宮より右3cmの所にある。
 無極宮……皇極宮より左3cmの所にある。
 三極復元……無生 (図1・1)

内景図は人体の修練を五次元に分けている。

- 元：元気の次元 (下丹田、尾閭関、下黄庭)
 元光の次元 (中丹田、命門、中黄庭)
 気光化合の次元 (膻宮、挟脊関、黄金殿)
 元音の次元 (上丹田、玉枕関、上黄庭)

極：皇極宮、太極宮、無極宮、三極復元

元極内景図は「三脈で竅穴を統率し」元から極へ修練する全過程を示すだけでなく人間の生命秘密も表している。その中の十二竅穴は人体にある主な十二経絡を統率して、更に天地宇宙に対応している。

四) 元極外景図

元極外景図は人体を中心とした宇宙空間のホログラフィである。外景図は人体外の三元分布と変化の段階を示している。内から外に見れば下記の様に見える。

- 小実線円 : 人体
 第一点線円: 虚空界……元氣次元……大気層
 第二点線円: 太空界……元光次元……太陽系
 第三点線円: 真空界……元音次元……太陽系外の空間
 大実線円 : 太虚界……三極復元……無生 (図1・2)

それぞれの空界内においてもまた、元氣、元光、元音という三空界は分解し併せて九空界になる。内景図の三田、三関、三庭という九段階に対応している。なお人間の慧心も九次元がある。

修練を重ねるほど、竅穴を次第に展開して慧心も少しずつ開いて相応の空間に展開する。元氣次元の修練が円満に至ると大気層の宇宙の運動が感じられる。元光次元まで発展できれば宇宙の太空界に達する。元音次元なら真空界に至る。頭上の三極宮の修練が円満になれば三極復元に到達して無生に返還する。これらの修練によって人間は宇宙と一体になる。故に人天合一は元極功法の修練の最終目的である。

外景図中の中心と外側の二つの実線円は人体と宇宙が等位的に存在することを表現している。即ち人体は小宇宙であり又、宇宙は大きな人体とも見ることを説明している。

五) 十字真言

元極の始祖は修練を重ねて慧心で天地運動の奥秘を観察し、人間の性（精神生命）と命（肉体生命）の和合も内視した上で、天地人の共通する元音を悟った。更にそれを無から有に転換させて文字にまとめたのが十字真言又は無字真経である。

ア- ジ- ミ- ヒ- ジ- ハ- ヤ- イン オ7 デイン
 唵 嚩 嚩 嚩 嚩 唵 唵 唵 唵

十字真言は元極修練の中で最も根本的な功訣である。修練の最初から最後まで十字真言を黙念する目的は、自らの体内の先天元音を呼び出し、天地の元音に達することである。又、十字真言と内、外景図を組み合わせると元極学の人天整体観を示した。

(六) 元極図の運動リズム

元極図は万象を包容した宇宙の本質的なリズムを含む人天模型である。元極図は中国の伝統文化における象数学の方法を使っている。象数学は事物を認識する重要な方法と認められている。それは形と数字で天地、万物の本質を示す方法である。象（形）で事物の全体的なリズムを示し、数字で事物の部分的なリズムを表す。

1) 数の立場でみる

無極：内径は36単位、周天の数で、万物を包容する意味である。

皇極：無極の中心にある。直径は12単位で地球の12支経絡の数である。

魚眼：陽中陰と陰中陽であり、直径は2・4単位で、陰、陽の運化を示す。

太極：S形の曲線弧であり、半径は9単位で、老陽の数である。

無極と魚眼との距離：6単位で、老陰の数である。 (図1・3)

以上の数の比例で書かなければ元極図に含んでいる深い奥義を十分に表現できないということである。

2) 象の立場でみる。

元極図の影像にどんなリズムを示すのか、無極から分析する。

無極図：無生無死、無陰無陽、天地、万物が運動する最高段階で、混沌ともいえる。ただの無ではなく、ここに三元が元音を主宰として円満的に統一されている。老子の「道より一が生じる」理念を示す。 (図1・4)

両儀図：元音がサイン・ウェーブの曲線に沿って動き「動けば陽が生じ、動、極めれば、静に戻る、静すれば、陰が生じる」S曲線で混沌世界を陰と陽両儀に分極化した。陰、陽は相互対立、依頼、補充しながら全体の均衡を維持し促進して行く。

太極図：陰、陽の分極化と同時にそれぞれの自生自化自返をも行う。結局、自己円満に発展すれば、対立側の要素を含んだエッセンスをまとめ、陽中陰と陰中陽の円満点が出て来る。それは太極の極の状態である。ここに、元気の特徴を表している。老子の「一より二が生じる」の理念を図示している。 (図1・5)

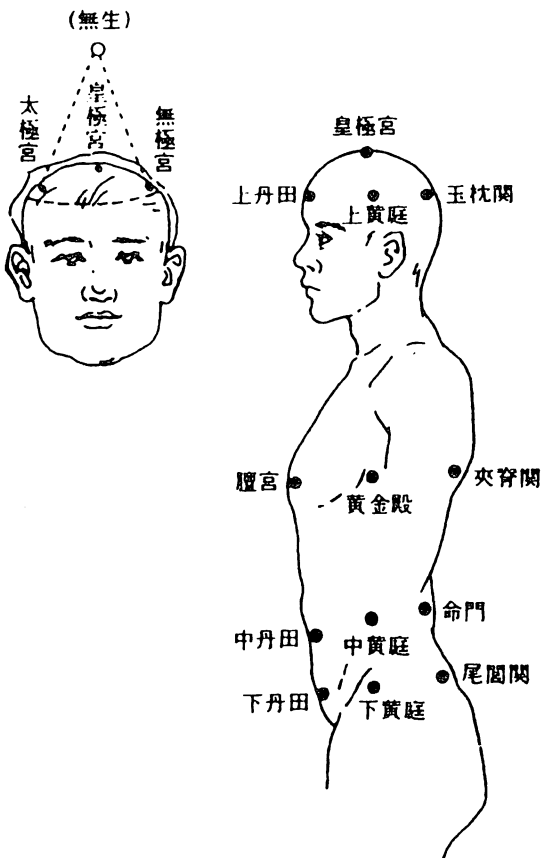
皇極図：陰、陽の運動で陽中陰と陰中陽、真陰と真陽が真ん中に集まり、円満に至ると皇極が形成される。皇極は古い母体から生まれた新生物である。その中に母体の全ての情報を含んでいる。しかし母体を越えた新しいシ

ステムでもある。老子の「二より三が生じる」の理念を図示した。

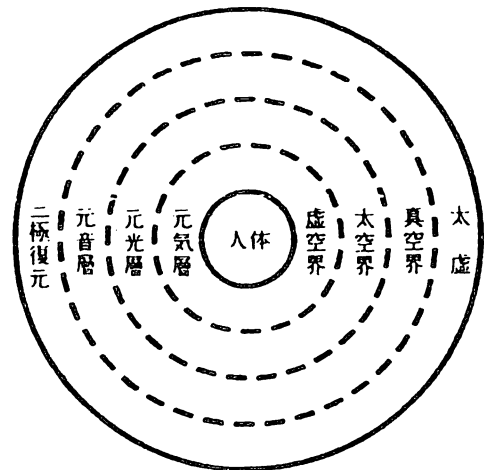
(図1・6)

元極図：皇極が更に限りなく運動すれば、新しいシステムの無極として母システムと同じような運動を繰り返し、三代目の新生物を造り出す。そして、多彩な現実世界になる。これは老子の「三生万物」を図示している。

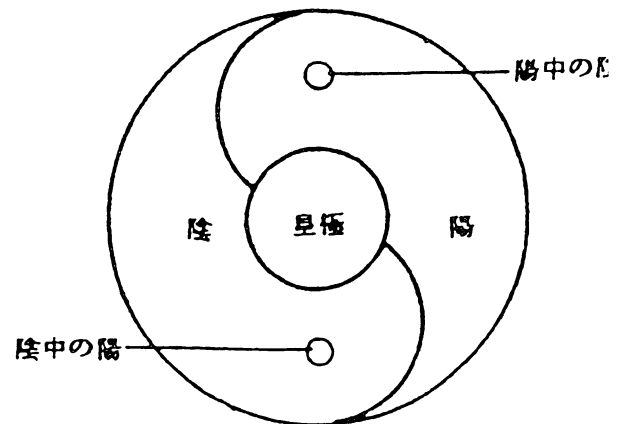
(図1・7)



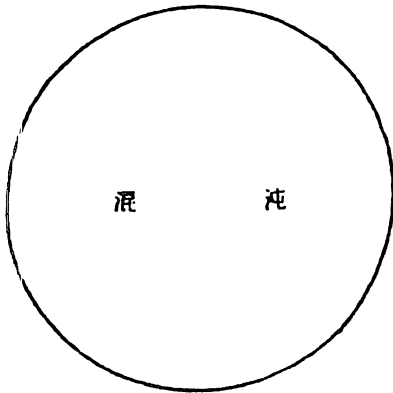
(図1・1) 元極内景図



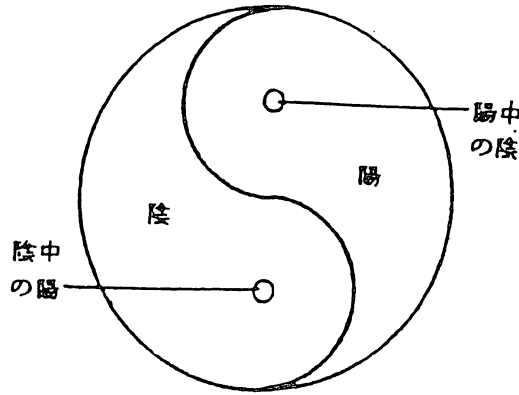
(図1・2) 元極外景図



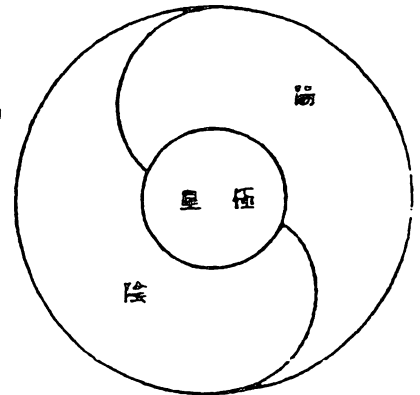
(図1・3) 元極図



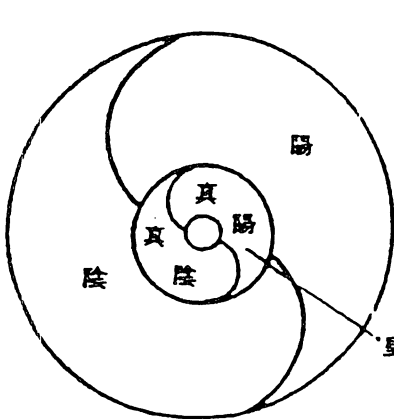
(図1・4) 無極図



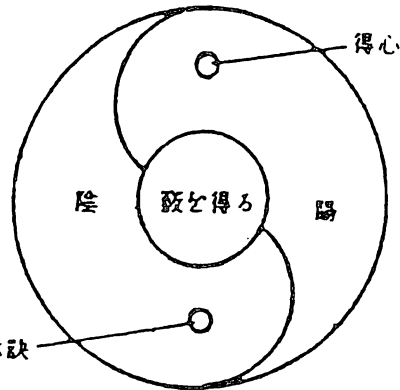
(図1・5) 太極図



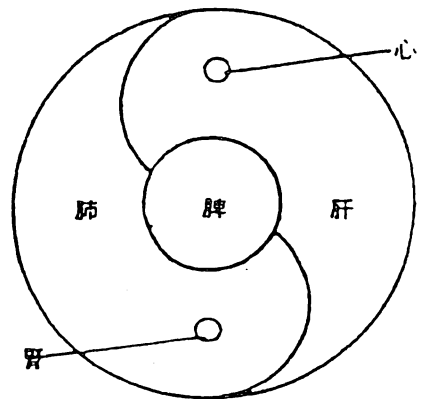
(図1・6) 皇極図



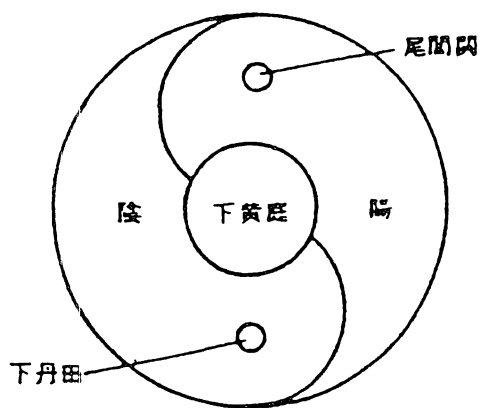
(図1・7) 皇極運動変化図



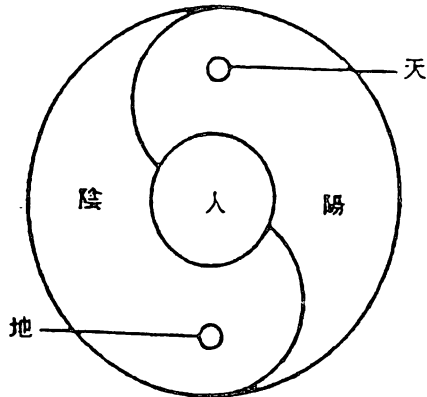
(図1・8) 寂を得る図



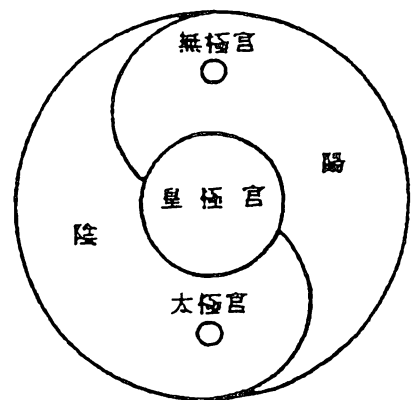
(図1・9) 元極五臟図



(図1・10) 古三還一図



(図1・11) 人天和合図



(図1・12) 三極掃元図

四 元极科研简介

元极学作为一门自然学科首次在人类面前展现。就自然科学范畴讲，元极学认为自然界的原始物质是元气、元光、元音，简称三元。三元是元极学的物质概念，其科学内涵为物质、能量、信息。三元是一种其大无外，其小无内，极细极微极妙的物质，它是不受时间空间限制、载有能量、带有信息，出入有间无间的永恒物质。是构成天地万物的原始物质。

三元分为有形有象与无形无象两大类别。

现代东西方科学都是以有形有象的后天三元为研究对象，对物质的研究发展到基本粒子阶段。高能物理学的研究表明“基本”粒子并不基本，它们还有其内部结构还可以再分。目前的科学技术手段，还无法揭示出“基本”粒子内部结构及其运动规律。在现代自然学科的研究、开发和利用中无论是原子能的利用，还是“基本”粒子的研究都是属于有形有象的后天三元。

元极学理论揭示了宇宙空间有取之不尽，用之不竭的无形无象的物质财富，开示我们人类应向无形无象的先天三元展开科学研究，向无形无象的空间获取物质财富。但是由于三元是无形的物质，至今不被我们人类所重视。揭示三元的奥秘，研究三元的妙用，是元极科研的根本任务。

自88年以来，我们先后与同济医科大学、湖北医科大学、武汉大学、山东大学、中国药科大学、中国科学院心理研究所等二十多所高等院校和科研单位合作，进行了64项课题的研究，涉及微生物生物学、物理学、化学、地质学、心理学等30多个学科领域，基础课题的研究从细胞水平、分子水平、离子水平来分析研究三元能量的各种效应及其作用机理，应用课题的研究以社会效益和经济效益为目的，有着很大的潜力可挖。有些专家教授是因偶然的机会参加了元极科研工作，他们持怀疑的态度来搞科学实验，然而却通过自己的实验说服了自己，最后证实了三元是客观存在的物质。三元能量对小白鼠艾氏腹水瘤有明显抑制作用，可使其存活时间大大延长，生命延长率为97.5%；三元能量处理金黄色葡萄球菌8分钟，其致死率为76%，相当于2%石炭酸杀菌率的1.29倍。三元能量不仅可以作用于原核微生物，对于真核微生物（如卡尔斯伯啤酒酵母）也有34%的致死作用。元极三元能量具有穿透性，可以穿透玻璃和铁皮屏障，直接作用于物体，这充分说明了三元出入有间无间的真实性和实用性。元极科研的初期实验项目《三元能量对生物医学效应的研究》、《三元能量对微生物效应的研究》，早在1991年就分别通过了湖北省卫生厅和山东省教委主持的科研成果鉴定，这些成果达到了国内领先水平，而其成果论文参加了“德中——中德研究会”学术会议。

三元的研究工作给予我们很大的启示，三元能量展发时可以杀死相当百分比的微生物细胞，另有少部分的微生物存活下来，这些存活的菌体细胞会不会发生变异？变

异能否测定或遗传下去？这种变异的物化因子所引起的形态及物理特性和变化是否有可比性？这种变异在工业和医药生产中是否有实际应用价值？为了深入探讨这些问题，山东大学微生物系的专家教授选择棘孢小单孢菌为研究对象进行了《三元能量与物化因子对微生物诱变效应的比较研究》等两项研究课题。研究表明：三元能量同物化因子一样能引起微生物遗传物质——基因的改变。三元能量用于菌种诱变选育高产菌株是可行的。中国药科大学进行的“三元信息对妥布拉霉素诱变株的生物合成研究”使发酵单位提高41.6%，主组份含量由48.53%提高到53.40%。三元能量用于工业菌种选育的开发是一个严肃的课题，我们在这方面将继续做大量的实验工作。

元极科学实验证实了三元是一种实实在在的极细极微极妙的物质。三元不断运变，出入有间无间，展发起来则妙用无穷。通过发放三元能量，在深层上改变了物质的内部结构，即是改变了物质原来的三元构成及其生化返的运动状态，从而带来了物质外部性状的变化。由于三元的原始性与直接性，所以通过三元能量的发放，能起到药物、化学催化剂或物理措施难以起到的作用效果。一系列的研究结果表明，三元这一宇宙间的原始物质和具体的现实物质是可以相互作用并相互转化的。

随着中国元极学研究会的成立，我们对元极的科学研究又到了一个的新的层次，目前我们科研工作的重点是元极堂。

元极堂是张志祥研究员按元极图理论，融天文、地理科学知识于一体设计建造而成，是元极学理论体系的具

体应用与重要标志之一。元极堂聚天灵地宝，妙合天地三元于一体，展现着科学奥秘。元极堂自93年元旦正式落成后，先后有9所大专院校和科研部门的专家教授从不同学科、不同角度对它进行了多种科学测试和实验研究。生物医学方面的研究，发现了元极堂降血压效应，水果保鲜效应，以及对大鼠红细胞ATP和肝脏MDA的作用效应，经人体红细胞膜的渗透性脆性实验证明，元极堂在增强机体免疫机能，防病治病方面有显著的效果。通过国家教委审定的《莲花山地区地磁梯度测量》的课题中，显示出元极堂地磁分布的特异性，《莲花山地区地质综合调查》课题也从地质条件上显示出了元极堂的异常性。为了进一步探索元极堂的科学奥秘，中南工业大学、山东大学、武汉大学、同济医科大学、湖北医科大学、日本电气工业大学佐佐木茂美等越来越多的专家教授被元极学理论所吸引，全身心地投入到元极堂科研工作中来，这一过程本身就说明了古老的元极学是有科学基础和依据的，但元极堂所蕴含的科学奥秘还远没有被人们认识和利用。元极堂独特的效应已将无形无象的三元威力展现在我们面前，它将接受现代科学的检验。

目前元极学的研究和元极科研还处在一个很小的范围内，还远远没有达到元极图所指导的宇宙空间，一旦达到宇宙变化自然变化这样一个空间里，我们每一个学科都会有一个快速发展。

元极学是人类文化瑰宝，我们坚信三元所蕴藏的巨大能量和潜力会逐渐为更多的人所认识和运用，人类迟早有一天会打开三元的宝库。